

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 7 月 10 日

茨城県知事 大井川 和彦殿

提出者 茨城県土浦市神立町650番地
日立建機株式会社
コンストラクション ビジネスユニット長 梶田勇輔

電話番号 029-832-7275

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日立建機株式会社 龍ヶ崎工場
事業場の所在地	茨城県龍ヶ崎市 3 番地
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2621（建設機械・鉱山機械製造業）
②事業の規模	製造品等売上高 747 億円
③従業員数	872 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 の通り

（日本工業規格 A 列 4 番）



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

環境管理委員会の中で廃棄物処理計画と実績について審議、各部門は自部門の廃棄物発生量の抑制方法を検討、実行する。

- ・環境管理委員会：4回/年 開催
- ・委員長：CSR・環境推進部 部長
- ・メンバー：各部門環境管理委員

管理体制図は別紙2の通り

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 表1の通り	
	排 出 量		t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・部品塗装の下塗り廃止の拡大 ・塗装スラッジの減容化 ・木パレットの分別・再利用・修理 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3 表2の通り	
	排 出 量		t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・部品塗装の下塗り廃止の拡大 ・塗装スラッジの減容化 ・木パレットの分別・再利用・修理 ・昨年の取り組みを継続 		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物は分別収集し、中間処理業者に委託処理する。 別紙4 廃棄物分別表 ・廃プラスチック類一部を再生利用（固形燃料化）し焼却処分量を削減 別紙5 RPF 再資源可燃ごみ表 ・廃プラスチック類の一部をマテリアルリサイクル実施 別表6 有価廃プラスチック表
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチック類の中の保護具を分別し、リサイクルする

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙7 表3の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		別紙 7 表 4 の通り	
	産業廃棄物の種類			
	全 処 理 委 託 量		t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

備考

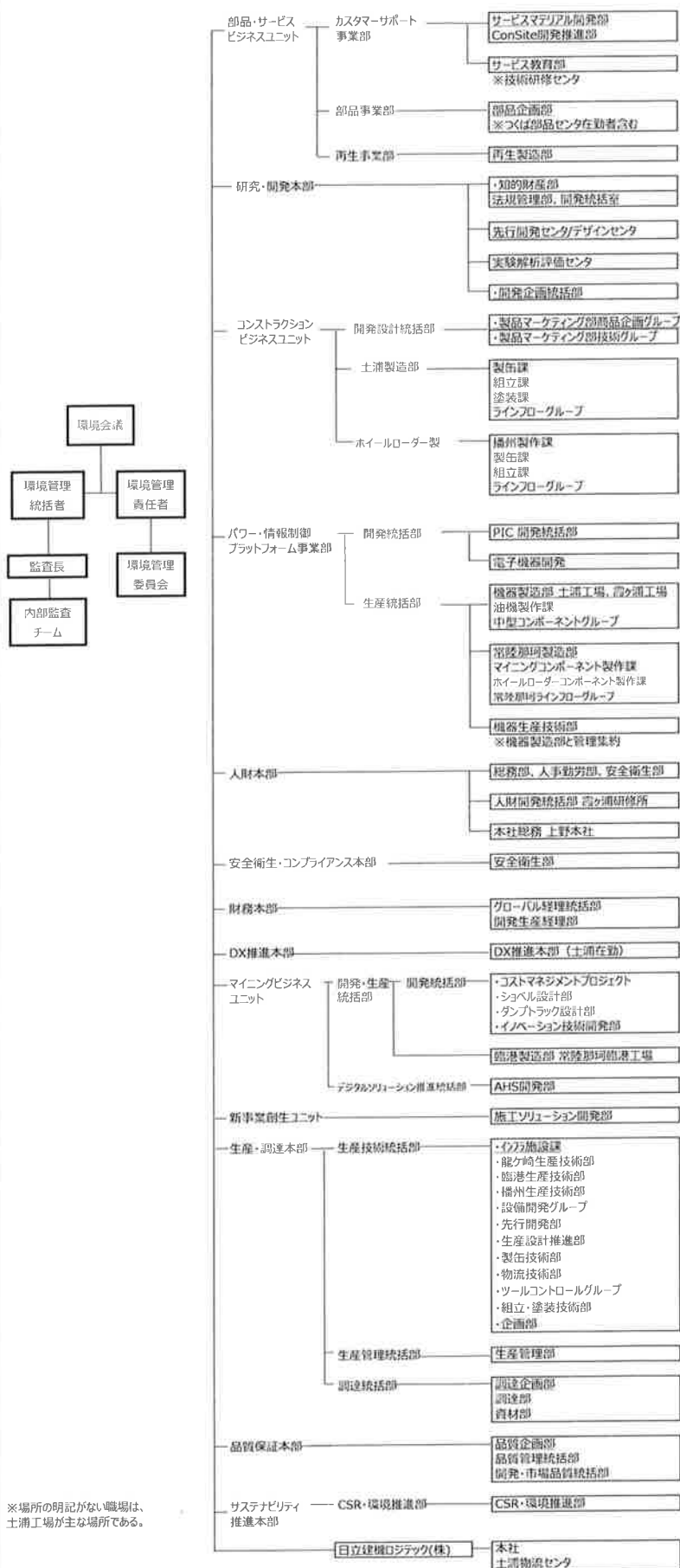
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

日立建機株式会社 土浦工場(霞ヶ浦工場、常陸那珂工場、常陸那珂臨港工場、龍ヶ崎工場含む)
産業廃棄物の廃棄物処理系統図(利材/事業系一般廃棄物含まず)

産業廃棄物の種類	主たる構内排出元	中間処理業者	再資源化または再資源業者
汚泥	排水処理場 脱水ケーキ	→ セメント原料 焼成	セメント
	塗装 塗料スラッジ	→ 混練 (セメント原料として再生)	→ セメント会社へ
	清掃汚泥	→ 脱水/遠心分離等	→ 公共下水道
		→ 残渣(汚泥)	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
廃油	製造・開発・試験 廃油 不凍液 廃塗料	→ 焼却炉助燃材に使用	助燃材
	製造 含油水 (水溶性切削液)	→ 油水分離	→ 公共下水道
		→ 残渣(汚泥)	→ 再生油
	排水処理場 スカム(油泥)	→ 油水分離等	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
	製造・開発・試験 油付ウエス等 塗料付ウエス等	→ 焼却	→ 公共下水道
廃プラスチック類	各職場 廃プラ (混合含む) OA機器 プリント基板等 油圧ホース	→ 破碎/選別	→ 再生油
		→ 金属類	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
		→ 廃プラスチック シュレッターダスト	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
廃酸/廃アルカリ	荷受・組立 軟質系プラスチック (梱包材 /マスキング材等)	→ 破碎/RPF製造	→ 精錬所へ (燃料及び溶融化による路盤材再生)
	各職場 薬品類	→ 中和/油水分離等	→ 固形燃料(RPF)として再生
		→ 残渣(汚泥)	→ 公共下水道
金属くず	各職場 乾電池	→ 破碎/選別	→ 埋立もしくはセメント会社へ (セメント原料として再生)
	蛍光灯	→ 金属	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
	水銀灯	→ ガラス	→ ガラス関連業者へ (ガラスとして再生)
	その他金属類	→ その他残渣	→ セメント会社へ (セメント原料として再生)
ガラスくず ・陶磁器くず	製造 土砂類 (溶接ス/パッタ等) 各職場 ガラス・陶磁器 砥石くず	→ 破碎	→ 精錬所へ (燃料及び溶融化による路盤材再生)
木くず 土浦工場 霞ヶ浦工場 龍ヶ崎工場	荷受・発送場 廃木製パレット 廃梱包材	→ 破碎/磁気選別/選別	→ 金属関連業者へ (金属として再生)
		→ 金属	→ 集成材製造業者へ (集成材として再生)
常陸那珂工場 常陸那珂臨港工場	荷受・発送場 廃木製パレット 廃梱包材	→ 破碎/磁気選別/選別 > 木材チップ < RPF製造 バイオマス発電燃料 ボイラ燃料 > 金属類 <	→ 畜産農家、RDFへ
			→ 固形燃料(RPF)として再生 バイオマス発電の燃料として供給 → 製紙会社ボイラ燃料として供給 → 金属関連業者へ (金属として再生)

注) 混合廃棄物については代表分類で表す。

日立建機(株) 環境管理組織



(第2面) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
【前年度実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	廃アルカリ	木くず	総排出量
		排出量	304 t	96 t	217 t	5 t	12 t	20 t	417 t

【目標】										
①計画	産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	廃アルカリ	木くず	総排出量
			294 t	93 t	210 t	4 t	11 t	19 t	404 t	1035 t
										排出量

廃棄物分別表 (龍ヶ崎地区)

分類		具 体 例	搬出先				出 し か た
大 中	分類項目		回収業者等	紙くず	(なか)	(細)	
1	217 397 126	普通紙	古紙回収ボックス	59	641	事務棟廃棄物置場	紙紐で束ねる
2	3	(秘)文書 (落書き)	専用ダンボール (ケラットボックス)	紙くず	事務棟廃棄物置場	事務棟廃棄物置場	(社外秘)は各部署で指定すること 内検番号を記入すること
3	4	段ボール	ダンボールボックス	53	0	指定容器	折りたたむこと。 前にめらさない 発泡スチロール、テープ、荷札、ビニールは取除く
4	5	業者引取品	自販機運付容器		各自販機	各自販機	つぶして返却する
5	6		売店運付容器		売店前	売店前	工場外から持込んだものは持ち帰る
6	7		部門指定		各納入場所	各納入場所	折りたたむ
5	8 RPF再資源可能?	●紙くず類 ・シュレッダーくず、感熱紙、カーボン紙、ノーカーボン紙、 ・ラミネート紙、トレペ、写真、ファイル類、OHPフィルム ・ミックスペーパー(シール裏紙、窓付封筒)、荷札 ・油紙、油・塗料の付着した段ボール(金属止めの具可) ●木 屑 : 割り箸(木製のみ可) ●ポリシート類・発泡スチロール類 ・ポリシート類、発泡スチロール、梱包バンド、ラッピングシート ・食品容器・包装(洗ったもの) ・農プラスチック(金属混入及び塩化ビニール:PVC除く) ・溶接ワイヤーのりール ・ポリ容器、キャップ(ゴム製を除く)、フロッピー、CD、(金属類を分別) ・廃プラスチック類(乾いていること、清浄ゴミを除くこと)	専用ボックス	53.1	指定場所	指定場所	透明のポリ袋に入れ部署名を記入して出す 金属、木くず、塩ビ、生ゴミ等の混入を禁止 混入していれば可燃ゴミへ出す
6	10 もえるごみ (RPF化不可)	●茶ガラ等の生ゴミ ・茶ガラ、残飯、タバコの吸殻、鼻がみ ・ロープ類、竹ぼうき、デッキブラシ等、竹工品 ・食品容器・包装(洗っていないもの)、お菓子等のシリカゲル ・熱中症対応冷却材(可燃ごみ処理できるもの) ●布くず類 ・傘(骨は取外して金属くずへ)、ゴム製キャップ類 ・軍手、革手袋、軍足、作業服などの繊維くず類 ・ポリエステル製作業服類、塩素含有繊維くず(防寒着、カッパ等) ・清浄ゴミ(枯れ枝、雑草、落ち葉)	(青)ダストボックス		指定場所	指定場所	透明のポリ袋に入れ部署名を記入して出す
7	11 木くず	・廃パレット、廃梱包材、ベニヤ、コンパネ板等、廃木材、木工品 (油・塗料の付着したものを除く)			廃棄物置場	廃棄物置場	箱物は可能なかぎり つぶして出す
8	12 ガラス・陶磁器くず	●ガラス類 ・コップ、ビン(飲料ビン除く)、マジックインキ ・ガラス、硝子繊維、薬品ビン、ガラスウール ●陶磁器類 ・裏当て板(タタキ板)材、湯呑み、茶碗	(緑)ダストボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	中を空にして廃棄
9	13 磁石くず類	・研削盤、グラインダー、切断機等の磁石くず ・布やすり、紙やすり	(青)ダストボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	
10	14 蛍光灯類	・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯、白熱灯、プロジェクターラ	各回収ボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	割らない様ケース等に入れる
11	15 廃 使い捨て 電 池	・マンガン、アルカリ電池などの一般乾電池 ・小型シール鉛電池などのボタン電池	乾電池ボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	
12	16 充電式	・ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池等充電式電池			廃棄物置場	廃棄物置場	
13	19 土砂類	・土、砂、小石、コンクリートの破片等 (改築工事に伴うものを除く) ・灰漬掃き(場内作業場清掃のみ)	(茶)ダストボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	
14	20 汚泥類	・塗料スラッジ(半袋、キャップ等の混入禁止)	ドラム缶		廃油置場	廃油置場	オーブンドラムに入れる
21	21	・排水ケーキ	専用容器		廃油置場	廃油置場	
22	22	・スケール	ドラム缶		廃油置場	廃油置場	
23	23	・溶接ヒューム	専用容器		指定場所	指定場所	ビン・袋に入れる
15	24 廃油類	・重油、シナー、ナフテン、洗浄油等特異物	ドラム缶		特異物保管庫	資料倉庫	引火点70℃未満のもの。
25	25	・塗料、グリス、不凍液、油定等	ドラム缶		廃油置場	廃油置場	
26	26	・水溶性切削油、アルカリ洗浄液	ドラム缶		排水処理場	排水処理場	排水処理場に処理依頼
27	27	・スカル(排水処理場で発生)	専用容器		排水処理場	排水処理場	
28	28	・作動油、潤滑油、切削油等	ドラム缶		廃油置場	廃油置場	廃油類処理申込書を廃棄物置場事務所に出す
29	29	・油の染み込んだウエス、吸着マット、オガくず	ドラム缶		廃油置場	廃油置場	ビン・袋に入れる
16	30 廃プラスチック類 (RPF化不可)	・サインペン、ボールペン、電光ペン、マーカーペン ・ヘルメット、波板等 ・ビデオテープ、テプラ空カートリッジ ・チューブ類(接着剤等でプラスチック製のもの)、ビニールス ・ゴムホース、エアホース、ゴムマット等ゴム、金属製(ゴム、皮、合皮、合紙) ・油圧ホース	(黄)ダストボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	
17	31	・OA機器類、プリント基板類	(緑)ダストボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	残油を抜く
18	32	・パソコン、デジタルカメラ、電子レンジ	(赤)ダストボックス		廃棄物置場	廃棄物置場	減価償却済の固定資産価値
19	33 小型家電	・パソコン、デジタルカメラ、電子レンジ	専用容器		廃棄物置場	廃棄物置場	減価償却済の固定資産価値
35	35 金・鉄くず	・ボッチキス針、パンチ、スチールバンド、針金、SF-5電子箱 ・部品くず、鋼板くず、帯鉄等 ・キャビネット、スチール机、椅子、脚立、踏台、自転車 ・機械、装置(減価償却済の施設に限る)等 ・スローアウェイチップ(組立工具)、ドリル、タッパ等鉄工具くず ・切断粉の粉くず ・ショット粉 ・ショットプラスト集塵フィルタ(金属製タイプ) ・切削粉の塊物くず ・ステンレス屑 ・アキュームレータ (注7)	(鉄)スクラップボックス		スクラップ置場	スクラップ置場	600mm×900mm以内に切断 可能な限り分別し分別廃棄 注3により排出する
36	36	・非鉄くず	無し		スクラップ置場	スクラップ置場	
37	37	・ほう金及び真鍮	工具くずボックス		スクラップ置場	スクラップ置場	
38	38	・電機くず	切粉バック		指定場所	指定場所	
39	39	・アルミくず	オーブンドラム		各部署集塵機	各部署集塵機	処分業者変更15.11.20〜(※8)雨水対策費 火災発生による対策措置(※10)
40	40	・切屑粉のアルミくず	オーブンドラム		スクラップ置場	スクラップ置場	
41	41	・廃1斗缶、廃ドラム缶、スプレー缶(残圧を抜く)等	切粉バック		指定場所	指定場所	
42	42	・スチールペン(キャップは廃プラ、芯はそのまま)	ステンレス屑ボックス		指定場所	指定場所	
43	43	・無	無し		指定場所	指定場所	
44	44	・バッテリー	無し		エコ産業へ連絡	エコ産業へ連絡	ガス封入物はガスを抜く廃棄方法:別紙
45	45	・研磨くず	専用ボックス		指定場所	指定場所	
46	46	・溶接棒くず	(水)ボックス		産業廃棄物保管庫	産業廃棄物保管庫	
47	47	・溶接棒くず	(白)ボックス		産業廃棄物保管庫	産業廃棄物保管庫	
48	48	・ショットくず	ペールバック		購入元へ返す	購入元へ返す	
49	49	家電 4品目	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機		購入元へ返す	購入元へ返す	購入もとへ返さない場合はエコ産業へ連絡する

- 注 1. 古紙、(秘)文書は回収指定日までに部門回収所から指定回収所へ持ち込んでください。
2. スクラップの搬出は、専用スクラップボックス(600mm×900mm)以内に切って排出して下さい。
3. 粗大スクラップは出来る限り切断(600mm×900mm)して下さい。切断出来ないものは、粗大スクラップ処理申込書を、排出日の1週間前までに台費場まで提出して下さい。
4. 固定資産を処分する時は、必ず固定資産減価償却引当金償却済の添付の上、排出日の1週間前までに固定資産処理申込書を台費場まで提出して下さい。(破損のものを除くこと)
5. 上記以外の廃棄物または大量に排出する場合は環境推進室(21601)に問い合わせして下さい。
6. 各項目とも可能な範囲の分解、分別をお願い致します。紙紐、ポリ袋は工具室(内32181)より入手してください。
7. 「アキュームレータ」の廃棄方法:別紙により、エコ産業 廃棄物担当者 内線21603へ連絡の上持ち参下下さい。
8. ショット粉の処分業者変更に伴い排出容器の変更、溶接ワイヤ容器からオーブンドラムに変更:環境推進室15-14参照※雨水浸入防止の養生実施下さい。
9. ショットプラスト集塵フィルタ(金属製タイプ)は、雨水が浸入しない様オーブンドラムに入れ蓋をして搬出下さい。※容器が準備されていない工場は、問合せ環境推進室(内線21602)まで

廃プラスチック類 非塩ビ系の物に限る

				
ウレタンスポンジ	エンドキャップ	スプレー缶 キャップ	・ガムテープ ・マスキングテープ	・CD ・CDケース
				
発泡スチロール	緩衝剤 発泡スチロール	プラスチック ケース類	結束バンド	・カップ麺容器 ・お菓子の袋



容器包装リサイクル法対象品の出し方注意

容器内を軽くすすぐ、くずを叩いて落とすなど、目で見ても汚れがわからないこと

				
宅配便伝票などの カーボン紙	複写伝票などの ノーカーボン紙	レシートやFAX 用紙の感熱紙	写真	窓付き封筒
				
物流シート	ラミネートされ た書類等	デカールなどの シールの裏紙	マスキング紙	油付・塗料付 段ボール

・マスキング材、油付・塗料付段ボールは乾燥した物で臭いが気にならないこと

・ラミネートされた社外秘以上の文書は切り刻んでください

				
軍手	木綿の手袋	荷札針金・ビ ニール付		

・軍手、手袋類はシンナーの臭いがしないこと

・荷札の芯線0.2mm以下のこと、それ以上は取り外すこと

混ぜればごみ！分ければ資源！
みんなで守ろう地球の未来

分別基準の問合せ先 環境推進室(内線21601)

【ビニール系】



エアキャップ



ストレッチフィルム
※テーパー、紙剥がす



ビニール包装

【硬質プラスチック系】



エンドキャップ



保護メガネ(レンズのみ)



スプレー缶キャップ



砥石カバー
研磨カスを拭く

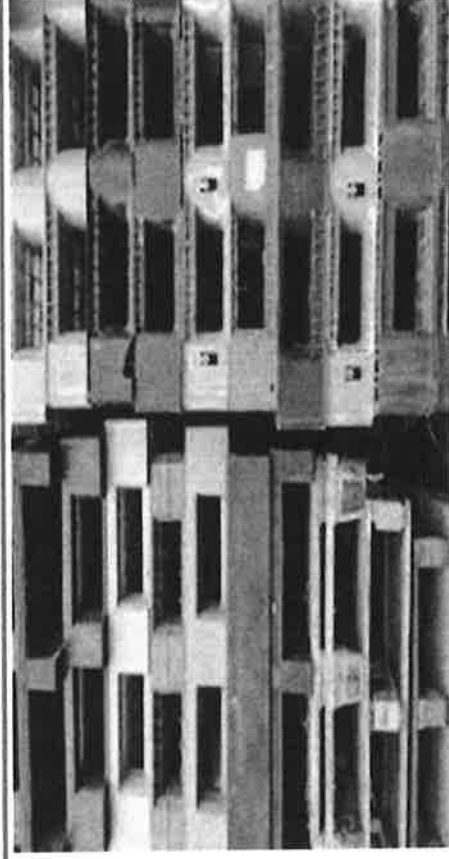
【発砲緩衝材】



【PPバンド】



【プラスチックパレット】



1度の排出で最大130枚可能

表 3

(第4面)産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
【前年度実績】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	廃アルカリ	木くず	総排出量	
全処理委託量	304 t	96 t	217 t	5 t	12 t	20 t	417 t	1071 t	
①現状									
優良認定処理業者への処理委託量	304 t	96 t	217 t	5 t	12 t	20 t	417 t	1071 t	
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	170 t	0 t	2 t	0 t	52 t	224 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	124 t	96 t	46 t	5 t	0 t	1 t	365 t	637 t	

表 4

(第5面)産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
【目標】									
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず陶磁器くず及びコンクリートくず	廃アルカリ	木くず	総排出量	
全処理委託量	294 t	93 t	210 t	4 t	11 t	19 t	404 t	1035 t	
②計画									
優良認定処理業者への処理委託量	295 t	93 t	210 t	5 t	12 t	19 t	404 t	1039 t	
再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	165 t	0 t	2 t	0 t	50 t	217 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	120 t	93 t	45 t	5 t	0 t	1 t	354 t	618 t	